
日々の愚痴

simiti

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日々の愚痴

【コード】

N00200

【作者名】

simiti

【あらすじ】

日々、意味もなく考えれてるマイナスな考えを書いただけの詩？です

生きる訳（前書き）

ゆっくり読んでいってください。

生きる訳

何のために生きているんだろう。

よく考える。

皆考えるのかは知らないけど、俺は知りたい。

知れるかどうか、以前に答えがあるのか。

知らない。

何のために生まれてきたのか。

知らない。

生まれてきた意味があるのか。

知らない。

分からない。

結局、何も分からずに日々生きてる。

意味が無いなら止めれば良い。

その通りだ。

でも、やめるのが怖い。

だから続ける。

……「続ける」じゃないな。

意味もなく「続く」、だ。

日々嫌な事はたまり、嬉しい事は通り過ぎる風のように、掴めず消えていく。

その流れの中に生まれてしまったからには、怖くて抜け出せない。

まるでこの世は理不尽な会社だ。

365日出勤。

給料なんて、ただの幻想が少し。

しかも、ストレスばかり続く仕事。

やめようにも、出口には何者か分からない恐怖が立っている。

せめて、給料が休みをくれ。

……一体、誰に頼んでいるんだろうか。

知らない、分からない。

生きる訳（後書き）

ありがとうございました。

カウントダウン(前書き)

ゆっくり読んでいって下さい。

カウントダウン

意味は知らない。

けど70までは生きようと思っている。

意味も知らないけど70まで生きようと思う。

365×70＝25550

4分の一ほどは終わっているから20000日ぐらいだろうか。

あと20000回だ。

それでこの人生はクリアだ。

あと20000回起きたら終われる。

あと20000回朝ごはんを食べれば終われる。

あと20000回着替えたら終われる。

あと20000回家を出たら終われる。

簡単だ。

それだけの事だ。

意味の無い人生がそれで終わる。

苦しむのもあと20000日。

悲しむのもあと20000日。

憎むのもあと20000日。

感情なんかと暮らすのもあと20000日。

嬉しい事だ。

カウントダウンでもしようか？

もうすぐ日曜日が終わり、月曜日が来る。

クリアまであと2万日。

そのうちの一日が今、終わる。

あと19999日だ。

クリアまで、もうすぐじゃないか。

クリアまであと2857週間。

そのうちの1週間で今、終わる。

あと2856週間だ。

日曜日はあと2856回だけだ。

クリアまでにも、あと1日。

今日と言う日が何もせず、今、終わる。

意味は無い。

早く終われば楽なのに。

カウントダウン（後書き）

ありがとうございました

欲望

人間は欲望があるから生きるらしい。

生き残りたいと思うから生きるらしい。

子孫を残したいと思うから生きるらしい。

らしい。

そうらしい。

そうなのか？

そうなんだろう。

人間にプログラムされたシステムだろう。

そんなものじゃないのに。

生き残りたい？

生き残ってなんになる？

どうせ死ぬんだ。

変わらない。

クリアしたら、データが消えるゲームのようなもんだ。

じゃあ、何のためにするんだ？

どうせ消えるのに？

消えるデータを一生懸命に築いたところで、どんな素晴らしいものでもそれは消える。

そんな事そさせるシステムが要らない。

子孫を残す？

何のために？

どうせ意味なんか無い。

いくらこの血が引き継がれて行つたところで、無駄だ。

どうせ、明日、太陽が爆発したらすべてなくなる文明だ。

俺のあとに続く未来なんて、俺にとっての価値は全く無い。

そんな事をさせるシステムが要らない。

何でこんなシステムがあるんだか、分からない。

何で生きるなんていう、面倒でつらい事をしなければならない？

何で生きるなんて……。

無駄な事だ……。

そんな苦情を叫んでる俺でも、腹が減ったら飯を食う。

それがシステムだから。

あらが
抗う事のできないプログラムだから。

無意味な事

どうでも良い話だが、俺は学校に通っている。

不登校のやつも居る。

これが違いの基本。

学校に通う俺は、テストで平均点は取っている。

取れないことがあっても、不登校のやつよりかは取っている。

不登校のやつは点が悪い。

テストを受けないやつも居る。

これが違いの生んだ違い。

俺はこの先進学するつもりだ。

進学はたぶん出来る。

不登校のやつよりかは、進学する望みは高い。

不登校のやつはどうなるんだろう。

ここが違いの到着点。

学校に、意味もなく行ったりきたりしたやつと、意味のない事はせずに、その時間を楽しんだ者の違い。

どうせ意味もないのに。

何の意味があるのだろうか。

自分にとって、意味のあること、やる価値のあることを意味とするならば、俺は意味のないことをしたやつ。

あいつは意味のあることをしたやつ。

意味のあることをした賢人は馬鹿と見られ、意味のないことを繰り返す馬鹿は良いやつ。

分からない。

意味が分からない。

どうせ、学校なんて、無駄だ。

自分の子供が頭がいいほうが良いと思う親。

自分の学校の生徒が頭がいいほうが良いと思う学校。

自分の国の頭がいいほうが自慢できる国の偉い人。

そんな人のためにやってるんだ。

俺のためとか、嘘について、どうせ上の方の大人は自分の事しか考

えてない。

自分の基準を勝手に押し付けて、無駄な事を繰り返させる。

そりゃそうだ。

そんな事が続いて、広がって、周りの基準も狂っている。

勉強の出来る人がいいと思う会社が、俺よりパソコンが使えるあいつを選ばず、俺を選んだ。

やめればいいのに。

そんな無駄な事。

学校は小学校以外つぶれても、大きな問題は無いだろう。

12歳になったら、働いたり、親の手伝いをしたほうがずっと良い。

勉強は学者が勝手にやるものにしてればさ。

なんで、そうならないんだろう？

俺には分からない。

……何か意味があるのかなあ？

なんて、どうでも良い話。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0020o/>

日々の愚痴

2011年10月6日23時34分発行